

## 第4次山形県環境計画の策定に当たって

---

近年、地球温暖化による気候変動の影響と考えられる異常気象やこれに伴う災害が頻発し、気候変動対策は待ったなしの状況にあります。

また、従来型の大量生産・大量消費・大量廃棄の経済・社会システムにより、地球環境には大きな負荷がかかっており、地球温暖化以外にも海洋プラスチックごみ汚染、生物多様性の損失などの環境問題が、世界中で、また、本県においても、深刻さを増してきております。

このような地球環境の危機への意識の高まりや「持続可能な開発目標（SDGs）」の広がり、地球温暖化対策の新たな国際枠組みである「パリ協定」の本格運用を背景に、世界では、2050年までの脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガス削減の動きが大きく加速しています。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大を機に、デジタル化や分散型社会への移行が進行するなど、時代は大きな転換点にあります。今後は、新しい発想や手法を積極的に取り入れながら、環境と成長が好循環するグリーン成長を実現していくことが重要です。

こうした中、本県は、令和2年8月、2050年までに温室効果ガス実質排出ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言しました。この達成に向けて、このたび策定した「第4次山形県環境計画」では、「ゼロカーボンへのチャレンジ」をテーマに掲げました。本計画に基づき、県民の皆様と危機感や課題意識を共有するとともに、国際社会の一員として、地球環境の保全に積極的に貢献してまいります。

かけがえのないこのふるさと山形県の健全で恵み豊かな環境を守り、育て、将来の世代に継承していくことは、私たちの重要な責務です。県民一人ひとりが環境問題を「自分ごと」と捉え、行動し、将来にわたり持続可能な“グリーンやまがた”をみんなで創ってまいりましょう。

令和3年3月

山形県知事 吉 村 美栄子